

皆様

金沢市は、昨年3月に策定した創造都市推進プログラムに従って、各種の取り組みを推進しているところですが、今回は、以前、皆様にお知らせしました二俣和紙再生プログラム検討委員会が、報告書を取りまとめましたのでお知らせします。

二俣和紙再生プログラム検討委員会は、本市を代表する希少伝統工芸である二俣和紙を活性化させるため、後継者の育成、用途・販路の拡大、和紙原材料の生産体制等の整備について検討することを目的とし、昨年5月に発足しました。

検討委員会は、今年度、開催した3回の会議を通じて、原材料の生産から紙漉までの一連の工程を整備し、本物の和紙づくりに取り組むため、二俣和紙再生に向けた課題と実践方策等を報告書として取りまとめました。

主要な実践方策としては、後継者の育成の面から、希少伝統工芸専門塾に二俣和紙部門を新設すること、用途・販路の拡大の面からは、以前、皆様にもお伝えしました、金沢クラフトビジネス創造機構（仮称）と和紙職人の連携による新製品の開発やメッセにおける新商品の展示・販売等を挙げました。また、和紙原材料の生産体制等の整備の面からは、楮の試験栽培の実施等を挙げました。

今後は、和紙職人や行政だけではなく、市民や事業者の協力により、二俣和紙再生に向けて、各種施策の着実な実践に努め、将来的には、楮の栽培から和紙の販売まで一貫した技術・知識の習得・活動が可能であるという和紙産地・二俣の強みを活かし、和紙づくりを学ぶなら、「二俣」いわば「和紙のワンダーランド」として、国内外にその名を馳せることが期待されます。

今後も、クラフト創造都市・金沢は創造の担い手を育てるために、各種の取り組みを推進していきたいと考えております。

それでは、皆様ますますご健勝にてご活躍されることを願って、日本国金沢市創造都市推進担当より。

(バッグ・紙工芸品など)



(刈り取り時期の楮畑)

